



平成23年12月8日

東京消防庁初 視覚障害者向け「録音図書」を制作

－ 視覚障害者に対し、防火防災に関する情報を発信 －

東京消防庁では、視覚障害者向け録音図書を初めて制作しました。

東京消防庁では、リーフレットやホームページなどを介して、都民に防火防災に関する様々な情報を発信しており、これまでに視覚障害者に配慮した情報提供として、リーフレット等に音声コードを貼付するなどの対策をとってきました。これに加え、東日本大震災以降、視覚障害者の方から、防火防災に対する対応等についてもっと詳しく知りたいという要望が当庁に寄せられていたことからこの度、防火防災情報を録音図書としてまとめ制作するに至りました。

今般制作した録音図書は、「音声」として収録された防火防災に関する情報を「聴く」ことができるもので、視覚障害者の情報取得の一手段として大きな期待ができます。

CD版については、利用者の利便性を考え、国際標準規格であるDAISY（デイジー）規格で収録をした、デジタル録音図書として制作を行いました。デイジー図書の制作は当庁として初めての試みであり、制作に関するノウハウがないため、もともと東京消防庁本田消防署と協力関係にあった葛飾音訳ボランティアの会に作業協力を依頼し、本録音図書は完成しました。

なお、広く普及するにあたり日本社会事業大学（高橋流里子教授）のご協力による監修をいただきました。

総収録時間は、CD版、カセットテープ版とも約2時間30分で、安心・安全な生活を送るために都民に知ってもらいたい防火防災に係る情報及び消防の歴史や過去の地震といった消防に関する豆情報の2部構成となっています。（内容の見出しについては別紙参照。）

東京消防庁では、今後、本録音図書を管内の図書館、視覚障害者団体、盲学校、視覚障害者施設等に寄贈するなどして、視覚障害者の防火防災知識の向上を図るほか、視覚障害者に対する更なる情報保障を進めていきます。

情報保障とは

身体的なハンディキャップにより、情報を収集することができない者に対して、代替手段を用いて情報を提供すること。

情報保障は、人間の「知る権利」を保障するものです。

問合せ先

東京消防庁（代）3212-2111
広報課報道係 内線 2345 ~ 2350

別紙

東京消防庁からのお知らせ ～安心・安全な生活に役立つ防火防災情報～

目次	
1 安心・安全な生活のために	p 1
(1) 119番通報について	p 1
(2) 救急車の適正利用について	p 3
(3) 熱中症について	p 5
(4) 住宅用火災警報器についてー火災から命を守るためにー	p 7
(5) 着衣着火について	p 9
(6) 防災品について	p 11
(7) 暖房器具の使用について	p 13
(8) 地震についてーいざという時の備えー	p 15
(9) 「集中豪雨による水の被害」について	p 19
(10) 電気火災について	p 22
(11) トラッキング火災についてーコンセントからまさかの出火ー	p 24
(12) エアゾール缶の取扱いについて	p 25
(13) 日常生活における事故の防止について	p 27
(14) 夏の事故防止について	p 30
(15) 年未年始の事故の防止について	p 33
(16) 消火器について	p 36
2 知識を深めよう 消防豆情報	p 38
(1) 防災館での体験学習について	p 38
(2) 「総合防災教育」について	p 40
(3) 消防団と東京消防庁災害時支援ボランティアについて	p 42
(4) 災害用伝言ダイヤルについて	p 46
(5) 消防に関する日・週間について	p 48
(6) 過去に起きた地震について	p 51
(7) 「消防の歴史と大火」について	p 53
参考 ホームページアドレスについて	p 58